

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-22-2111

目次	1面	コミュニティ・スクール スタート、学校支援ボランティア募集
	2面	全国学力・学習状況調査結果の概要、芦別高校修学費助成制度の改正
	3面	ネット利用に関するアンケート結果
	4面	芦別中女子ソフトテニス部全国大会出場、芸術鑑賞会等のお知らせ

芦別市が目指すコミュニティ・スクール 両中学校区でスタート

芦別市が目指すコミュニティ・スクール（以下、「CS」という。）の活動が、芦別・啓成中学校区でスタートしました。5月22日に両中学校区合同での学校運営協議会を開催してスタートを切り、その後、連絡調整会議、学校関係者評価部会等を行ってきました。

年度内は引き続き、学校関係者評価部会による学校訪問、学校支援部会による協議を計画に基づいて行っていきます。

去る、8月21日には両中学校区学校運営協議会委員により、CS活動の先進地である北広島市の視察を行ってきました。平成25年に北広島市教育委員会は、西部地区にある西部小学校と西部中学校をCS（道内では2番目）に指定しています。今回の視察では、西部中学校を訪問させていただきました。芦別中学校と生徒数や学級数など、ほぼ同様の規模の学校です。午前中は、西部CS委員会及び学校についての説明（右下写真）があり、その後、授業参観、給食試食、午後からは、西部CS委員と交流の時間をもちました。

CSは、まちを活性化するための一つのツールであること、他の地域のやっていることを形だけまねをするのではなく、地域ごとで子ども達の様子も違うので、その地域に必要な取り組みを行うことが大事であり、何のためにやるのかということをしっかり押さえることが重要であること、地域への浸透が大きな課題であることなどの助言をいただきました。

参加した本市の学校運営協議会委員からは、「何か新しいことをするのではなく、今行っている活動を整理して取り入れていく、CSは三者（地域・学校・保護者）をつなぐパイプ役である。今回の視察を参考に芦別らしいCSを作り上げていきたい。」などの感想が寄せられました。参加した委員は、それぞれ成果を得てきましたので、今後の両中学校区CSの活動に活かされることが期待されます。

また、活動についての市民の理解や活動の浸透は大きな課題ですので、今後も様々な場面を通してPRや広報に努めていきます。



学校支援ボランティアを募集しています

学校支援ボランティアは、地域・学校・保護者が連携して、子どもたちの健やかな成長を見守り育むことを目的に、様々な知識や技能、社会経験を持った地域住民等の皆さんにボランティアとして学校の教育活動を支援していただく取り組みです。

教育活動に係るボランティアに関心のある方は、教育委員会へご連絡ください。



全国学力・学習状況調査結果の概要

平成31年度全国学力・学習状況調査の結果が7月31日に公表され、8月1日に新聞等で発表されました。

今回の調査から、国語、算数・数学でA問題(基礎・基本)とB問題(応用)が統一されたり、中3を対象に初めて英語が調査に加わり、内容が大きく変わりました。

芦別市の結果は、右の表のとおりです。残念ながら今年度は、小学校・中学校ともすべての教科で昨年度を下回りました。

今年度実施された英語科については、全国比・北海道比より低いですが、国語、算数・数学に比べると差は小さくなっています。

結果から見る本市の課題としては、全国と比較し、正答率の低い割合が多いことや、記述式の問題で無回答が多いことがあげられます。

また、昨年同様、家庭での勉強時間が少ないことも本市の課題となっています。

各学校ではこの結果を踏まえ、「学校改善プラン」を作成し、学力向上に向けて取り組みます。なお、各学校の分析結果については、今後、学校だよりや市のホームページに掲載する予定です。

		平成31年度		平成30年度		
		全国比	北海道比	全国比	北海道比	
市内小学校	国語	相当低い	低い	国語A	相当低い	相当低い
				国語B	やや低い	低い
	算数	低い	やや低い	算数A	低い	低い
			算数B	相当低い	相当低い	
	理科	未実施		理科	同様	ほぼ同様(高)
市内中学校	国語	低い	低い	国語A	低い	低い
				国語B	相当低い	相当低い
	数学	相当低い	相当低い	数学A	相当低い	相当低い
				数学B	相当低い	相当低い
	理科	未実施		理科	低い	低い
	英語	低い	低い	英語	未実施	

** 基準～全国・北海道の正答率との差 **

- ◇同様 → 1±ポイント未満
- ◇ほぼ同様(高い・低い) → ±1～3未満
- ◇やや高い(やや低い) → ±3～5未満
- ◇高い(低い) → ±5～7未満
- ◇相当高い(低い) → 7ポイント以上

芦別高校修学費助成制度の改正について

現在、本市では芦別高校への進学率の向上と保護者負担の軽減を図ることを目的に、通学費と検定試験等受験料の助成を実施しています。

しかしながら、今年度芦別高校に入学した生徒は、募集定員3間口120名に対して、2間口の62名と大幅に欠員となりました。このようなことから、令和2年度以降、2間口(定員80名)の堅持を目指すとともに、地元からの進学率向上を図るため、新たな支援策として、『**修学奨励費助成**』を行います。

これは、芦別高校に入学した生徒の保護者のうち、芦別市内に住所を有する方を対象としており、生徒一人当たり『**10万円分のどんぐり商品券**』を交付します。

また、現在自宅から学校までの通学距離が片道6km以上ある生徒に対して、「通学費の全額」を助成していますが、年々経費が増加し、大きな負担となっていることから、市で策定している「財政基盤強化集中改革プラン」の補助金等の見直しにより、令和2年度の新入学生から助成金を2分の1に縮減し、経費の削減を図ることにしました。

ただし、現在通学している生徒については、現行どおり全額助成します。



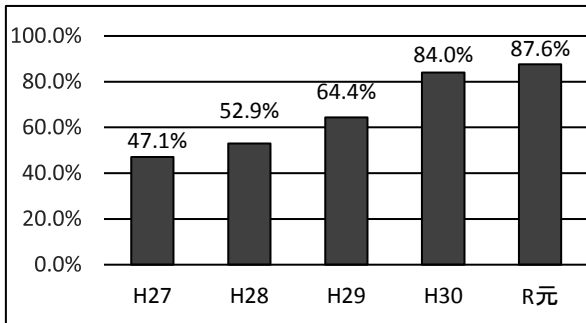
ネット利用に関するアンケート結果について

インターネットやSNSなどは、必要な情報を即座に入手でき、児童生徒の学習にも効果的に利用され、コミュニケーションツールとして今や欠かせないものになっています。

しかし、使い方を間違えると、個人情報の流出やストーカー、脅迫、いじめなどの被害に遭ったり、あるいは加害者になり得ることもあるため、スマートフォンの危険性について知っておく必要があります。本市では、本年5月に市内の小学5年生から中学3年生を対象に、携帯電話やスマートフォンの所有状況などの実態を明らかにするため、アンケート調査を実施しましたので、ご紹介します。



① ネット利用者の割合

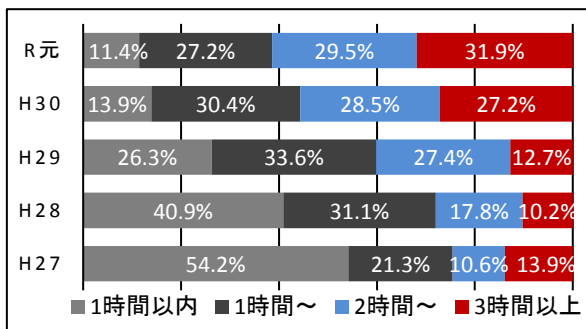


自分専用の携帯電話やスマートフォンの所持率に関しては、小学生で約61%、中学生では約82%となっています。

また、家族で共有するものを含めると、小学生で約91%、中学生で約96%と、ほとんどの児童生徒は家庭においてネット利用が可能な状況にあります。

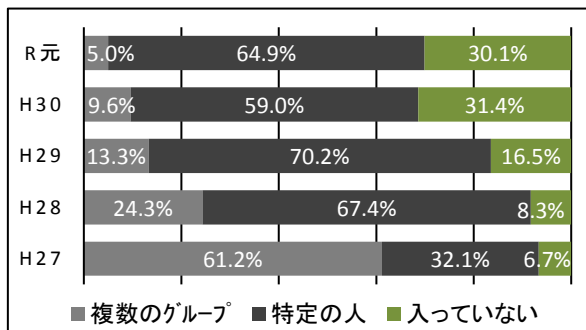
① ネット利用者の割合を見ると、約88%が利用しており、2年前の調査より20%以上増加しています。

② インターネット利用時間



② インターネットの利用時間に関しては、利用時間1時間以内が2年前より約15%減少していますが、逆に3時間以上の利用は約20%増加しています。一方、本市では、いじめ問題対策連絡協議会等の関係機関が連携し、平成29年4月に「携帯電話・スマートフォン・ネット利用の基本ルール」を策定しました。その中で「ゲーム・SNS等は、一日の利用時間を1時間以内」となるよう家庭でのルールづくりの指針を示しています。残念ながら「家庭でのスマートフォン・ルールの有無」に関しては、これまで少しずつ増加し、昨年度は「有」が約67%でしたが、今年度は約63%と減少してしまいました。

③ SNSのグループでの利用状況



③ SNSのグループでの利用状況では、「複数のグループ」が大きく減り、「特定の人」と「入っていない」を合わせると95%となり、「ネットの危険性」についての意識は非常に高いと思われます。

《個人情報漏えいについて》

Facebook（フェイスブック）やTwitter（ツイッター）などから、簡単に情報を発信することができます。一度アップした情報は、たとえその投稿を削除したとしても、完全に消去することは難しいため、個人情報が漏えいする危険性を十分認識しておく必要があります。



今一度、ご家庭で「携帯電話・スマートフォン・ネット利用のルールづくり」について、話し合いましょう。

芦別中学校女子ソフトテニス部 全国大会出場

令和元年7月30日から8月1日に行われた中体連の全道大会において、芦別中学校の女子ソフトテニス部が、個人戦(石井選手・神谷選手組)と団体戦で共に「準優勝」と好成績を収め、8月20日から京都府宇治市で開催された『全国中学校体育大会第50回全国中学校ソフトテニス大会』に、北海道代表として出場しました。

初日は個人戦を行い、1回戦、3年生の「石井選手・神谷選手組」が、今大会でベスト8まで勝ち進んだ群馬県前橋市立桂萱中と対戦しましたが、惜しくも3対4の接戦で敗退しました。

大会二日目は団体戦を行い、1回戦、新潟県新潟市立巻東中と対戦し、大健闘しましたが、残念ながら1勝2敗で敗退となりました。

団体戦には1、2年生も出場していますので、来年度も全国大会出場を目指して、頑張りたいと思います。

今後も一層のご活躍を期待しています。



芸術鑑賞会、音楽発表会のお知らせ

毎年度、芦別市教育振興会が主催し、演劇や音楽等の鑑賞活動を通して、児童に豊かな情操を養うことを目的に、『芸術鑑賞会』を開催しています。

この鑑賞会は、「演劇」と「音楽」を交互に開催し、今年度は『演劇(マーレンと雨姫)』を鑑賞します。

市内の全小学生が鑑賞しますが、保護者の皆さまも是非ご覧ください。

日 時：令和元年9月12日(木) 10時より
会 場：芦別市民会館大ホール
演 目：劇団風の子「マーレンと雨姫」



また、教育振興会が主催し、令和元年10月31日(木)9時より、市民会館大ホールにおいて、『音楽発表会』が開催されます。

出演される児童生徒に大きな声援を送っていただきたいと思いますので、是非ご覧ください。

保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」(様式自由)にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係
【電話】0124-22-2111 【ファックス】0124-22-9696
【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp